

継続

エアロスフィア吸入指導報告書

Ver.20240623改定

患者ID: _____

病院 _____ 科 _____ 医師 _____

指導を受けた方:

ご本人 ご家族 その他

調剤薬局名:

担当薬剤師名: _____ 先生

指導日: _____ 年 _____ 月 _____ 日

FAX送信先: 横浜労災病院薬剤部

FAX: 045-474-8024 TEL: 045-474-8111

商品名: _____ 用法用量: _____

★の項目が指導後も×の場合は、治療継続不可とします。

			指導前	指導後
準備	カウンターで残量を確認できる。		○・×	○・×
	キャップを外すことができる。		○・×	○・×
	吸入器を5回振り、薬剤と噴霧ガスを均一にすることができる。		○・×	○・×
吸入	吸入前の息吐きができる。		○・×	○・×
	オープンマウス法又はクローズドマウス法で吸入する準備ができる。		○・×	○・×
	★ ボンベを押すと同時にゆっくりと吸い込むことができる。		○・×	○・×
	5秒間の息止めができる。		○・×	○・×
	吸入後の息吐きができる。		○・×	○・×
片付け	キャップを閉める前にマウスピースをふき取る。		○・×	○・×
	使用後はキャップを閉める。		○・×	○・×
うがい	うがいができる。		○・×	○・×
	うがいの必要性を理解している。		○・×	○・×

◆ 使用中または今回使用を追加した補助器具にチェック して下さい。スペーサー 噴霧補助器具 練習用プラセボ吸入用◆ 症状の評価 (□ A C T / □ m M R C ※使用した方に して下さい。) 結果 _____

◆ 残薬: _____ 吸入 (使用済みデバイス _____ 個)

◆ 副作用の出現: なし・あり (口渴・頻尿・嘔吐・口腔内違和感・その他 _____)

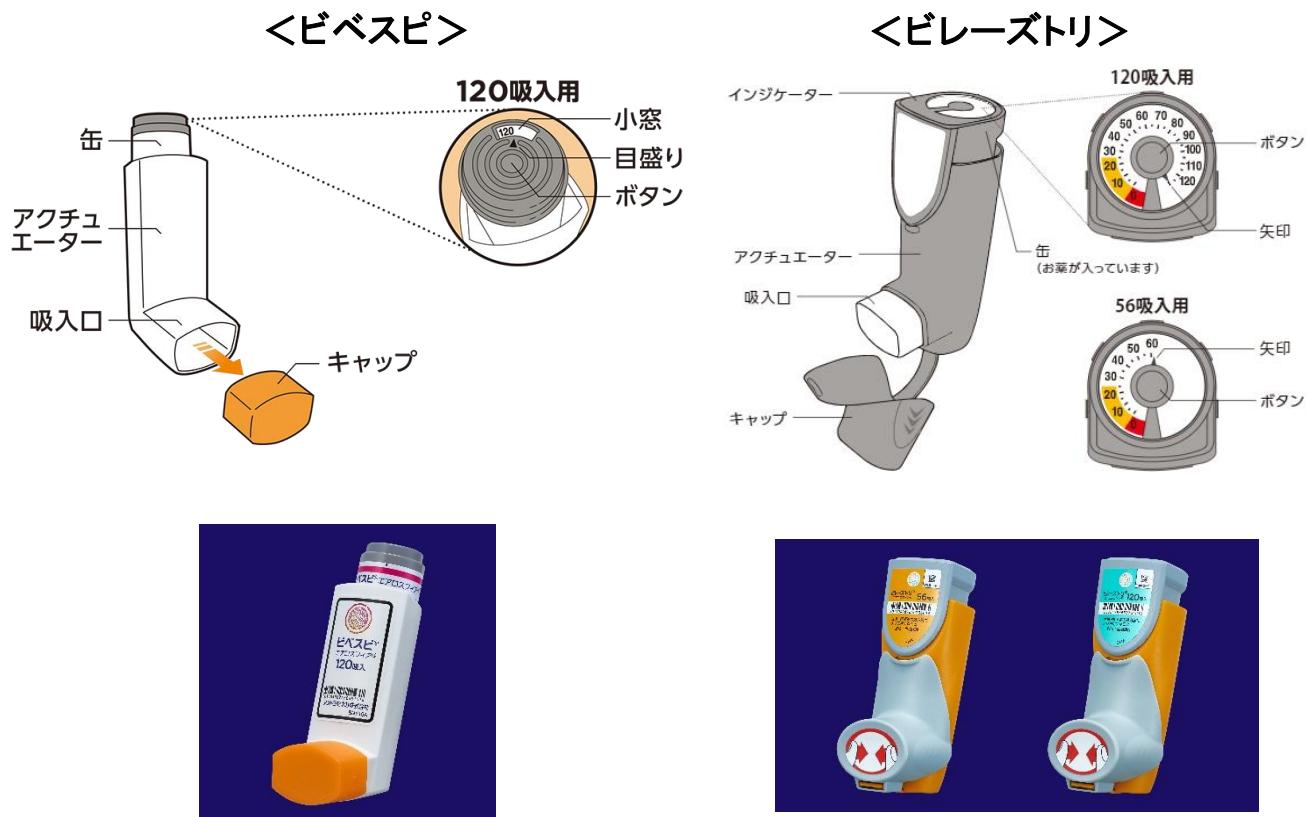
◆ このデバイスを使用した治療は継続可能ですか。 可能・不可

⇒不可理由 (デバイス変更は一覧[HP参照]から同一用量のデバイスを選択し電話にて疑義照会してください。)

◆ 特記事項

(指導が実施できなかった場合など、トラブルや不備があればそちらも記載して下さい。)

エアロスフィア 各部位の名称



エアロスフィアの初回準備方法

空噴霧

- キャップを外します。
- 吸入器を5回振ります。
- 吸入器のボンベを押すと霧状のガスが出ます。



※初回空噴霧

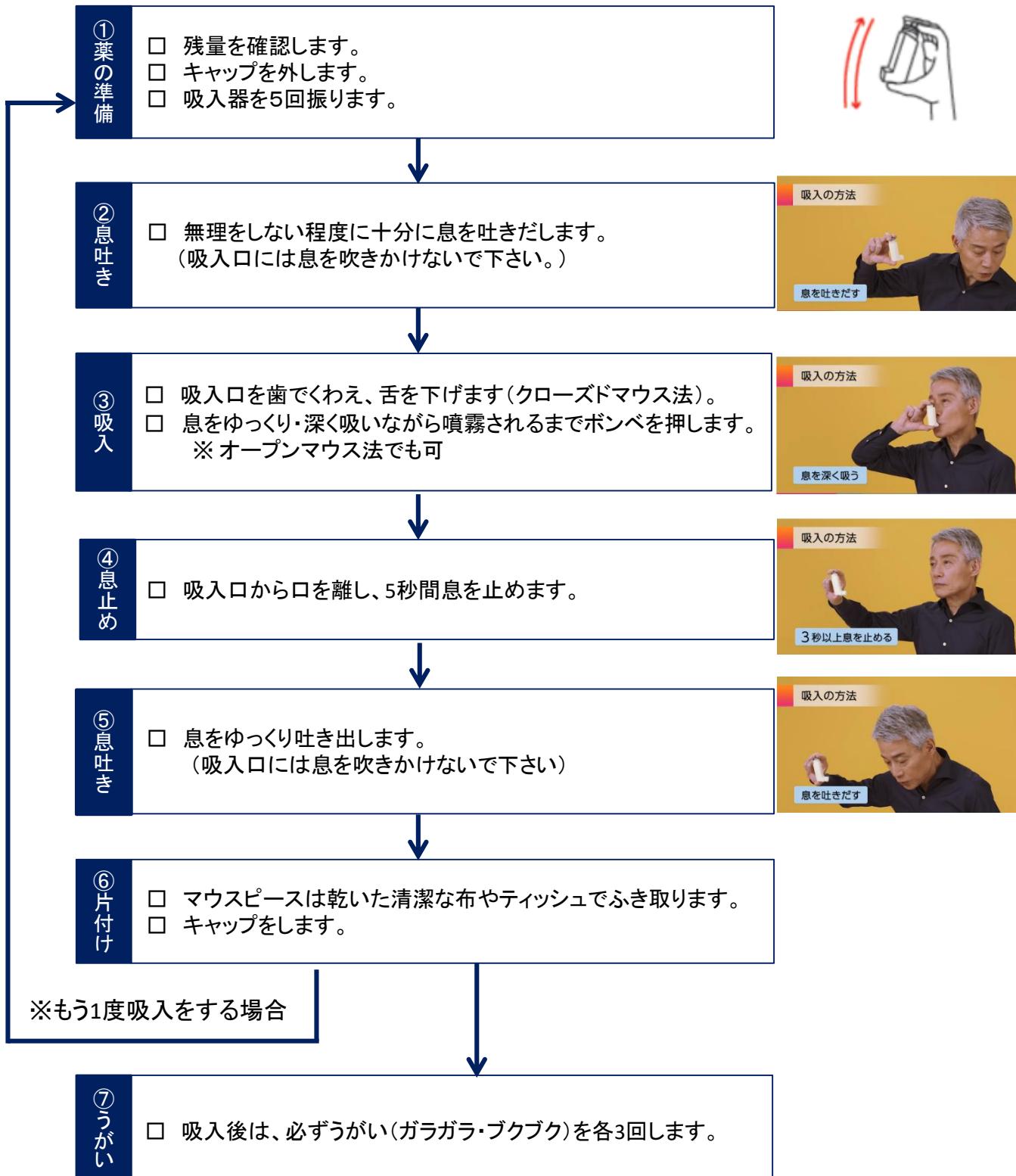
- ・ビースピは2回行ってください。
- ・ビレーズトリ：120吸入は2回、56吸入は4回行ってください。

※吸入器洗浄後は2回空噴霧を行ってください。

エアロスフィアの吸入手順(患者さん用)

【薬品名:ビベスピ、ビレーズトリ】

※ 残量が少ないときは早めに新しいものを処方してもらって下さい。



※もう1度吸入をする場合

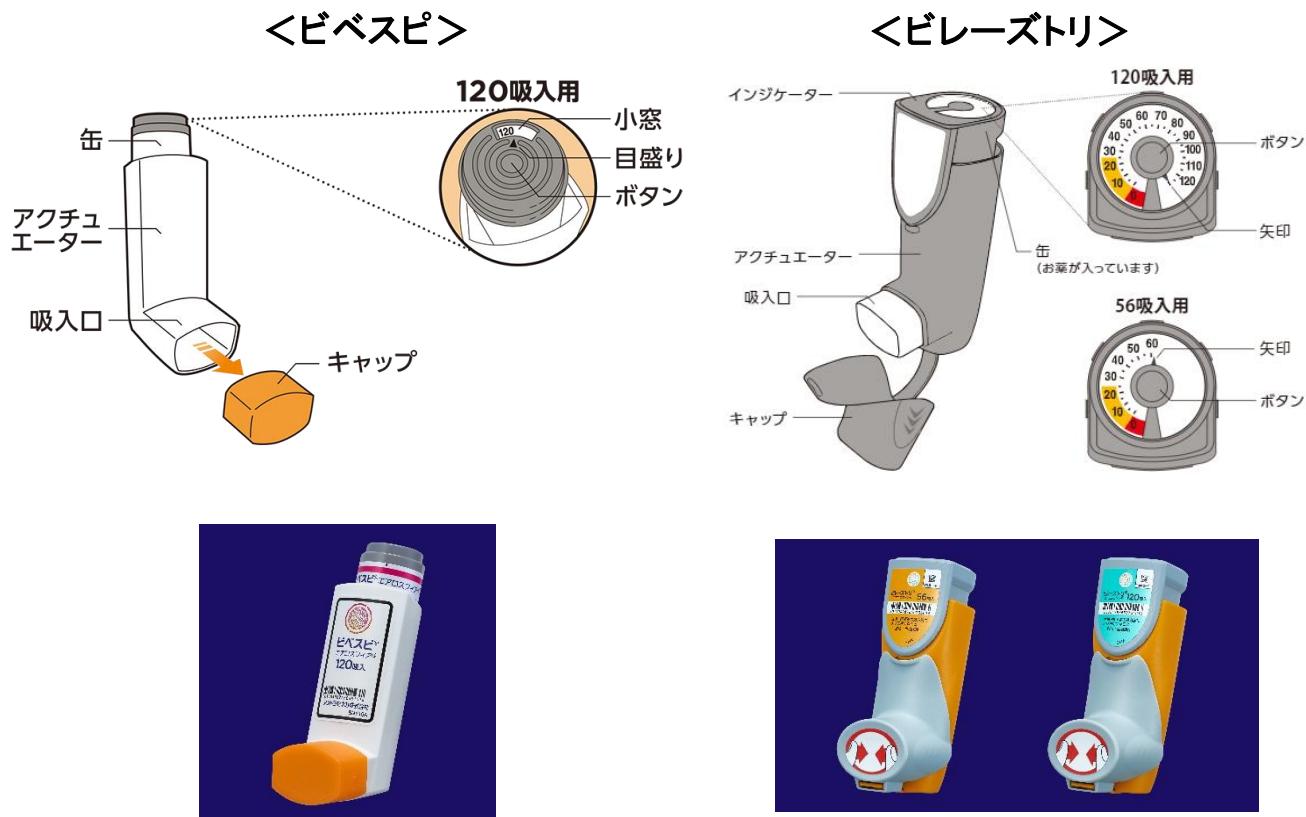
⑦うがい

- 吸入後は、必ずうがい(ガラガラ・ブクブク)を各3回します。

吸入器の洗浄を週1回行って下さい。

※吸入補助器具「プッシュサポーター」を装着している場合は、取り外して下さい。

エアロスフィア 各部位の名称



エアロスフィアの初回準備方法

空噴霧

- キャップを外します。
- 吸入器を5回振ります。
- 吸入器のボンベを押すと霧状のガスが出ます。

※初回のみ必要な操作です。
毎回行わないように指導します。

主薬と噴霧ガスを均一にするため、噴霧前に容器を十分に振る必要があります。患者の混乱を防ぐため、振る必要のない製剤も振ると指導します。

※吸入器洗浄後は2回空噴霧を行ってください。

エアロスフィアの吸入手順(患者さん用)

【薬品名:ビベスピ、ビレーズトリ】

※ 残量が少ないときは早めに新しいものを処方してもらつて下さい。

カウンターのないものは、
メーカー資材(シール等)を利用して確認します。

①薬の準備

- 残量を確認します。
- キャップを外します。
- 吸入器を5回振ります。

主薬と噴霧ガスを均一にするため、噴霧前に容器を十分に振る必要があります。
患者の混乱を防ぐため、振る必要のない製剤も振ると指導します。

②息吐き

- 無理をしない程度に十分に息を吐きだします
(吸入口には息を吹きかけないで下さい。)

息吐きをしないと、
吸入がうまくできません。
十分に息吐きができているか確認します。

③吸入

- 吸入口を歯でくわえ、舌を下げます(クローズドマウス法)
- 息をゆっくり・深く吸いながら噴霧されるまでポンペを押す
※ オープンマウス法でも可

すでにオープンマウス法で問題なく吸入できている患者は、無理にクローズドマウス法に変更する必要はありません。
初めて吸入する患者は、クローズドマウス法で指導します。

④息止め

- 吸入口から口を離し、5秒間息を止めます。

吸入時「同調ができない」「刺激でむせてしまう」など場合には、スペーサーの使用を考慮。医師への照会は必要ありません。報告書に記載して下さい。

⑤息吐き

- 息をゆっくり吐き出します。
(吸入口には息を吹きかけないで下さい)

肺内への薬剤の沈着率を高めるため
息止めが必要です。
ただし、無理はさせないこと。

⑥片付け

- マウスピースは乾いた清潔な布やティッシュでふき
- キャップをします。

キャップをする前に、吸入口を拭くように指導します。

※もう1度吸入をする場合

吸入ステロイドは口腔内
カンジダや嘔声などの
副作用を防止するため
吸入後すぐにうがいします。
それ以外の吸入薬も統一化を
図るために、うがいを行つ
ように指導します。

⑦うがい

- 吸入後は、必ずうがい(ガラガラ・ブクブク)を各3回

吸入器の洗浄を週1回行って下さい。

※吸入補助器具「プッシュサポーター」を装着している場合は、取り外して下さい。